

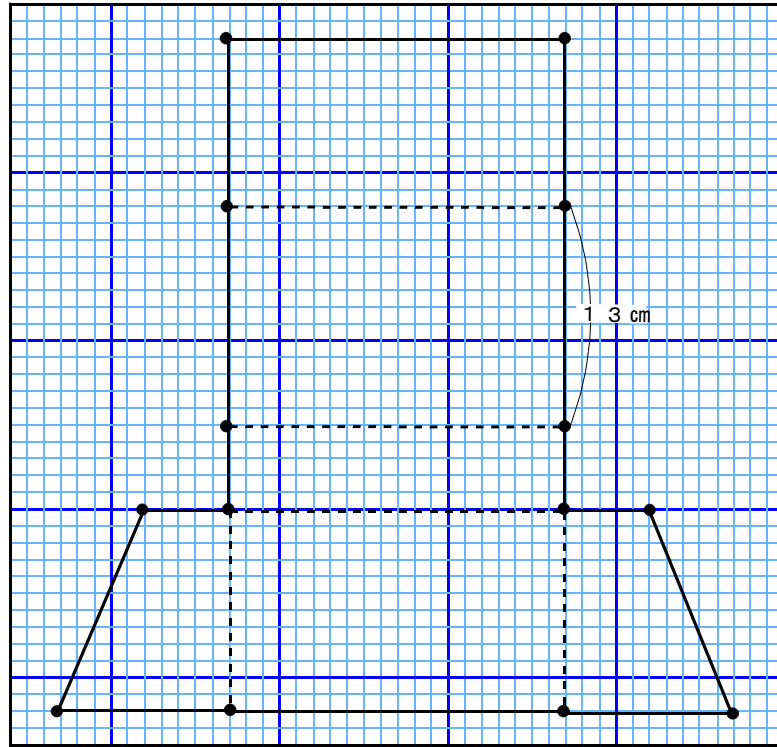
【平成26年度 適性検査Ⅱ 解答例】(古佐田丘中学校)

研究1	課題1	(例) 大勢の人たちが、それぞれの得意分野で参加し、その人たちの夢や希望、期待を込めて作られたものであるから。																			
	課題2	(例) 中小工場は、全体の七割の人が働いており、大工場と同じぐらいの生産額である。このことから一人あたりの生産額は少ないといえる。しかし、日本の工場の大部分をしめる中小工場は、さまざまな工業の生産を行い、軽工業では高い生産額を上げるなど、日本の工業にとって大切な役割を果たしている。																			
研究2	課題1	(例) 午前10時から午後2時25分まで 4時間25分(265分) 開会式、閉会式、休けいと昼休けいで $5 + 5 + 15 + 60 = 85 \quad 85 \text{分}$ 発表の総時間 $265 - 85 = 180 \quad 180 \text{分}$ 各学年の発表時間の平均は、3・4年生の時間となるので 3・4年生 $180 \div 6 = 30 \quad 30 \text{分}$ 1・2年生 $30 - 5 = 25 \quad 25 \text{分}$ 5・6年生 $30 + 5 = 35 \quad 35 \text{分}$ 4年生までは、 $5 + 30 + 25 + 15 + 35 + 25 + 60 = 195 \quad (3 \text{時間} 15 \text{分})$ 午前10時から3時間15分後は、午後1時15分。 午後(1)時(15)分																			
	課題2	(例) 仮に、5年生と6年生の人数を半数の21人とすると、並べるいすは315きやく。6年生の人数を1人ずつ増やして考えると、いすの数は次のようになる。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tbody> <tr> <td>5年生の人数(人)</td> <td>21</td> <td>20</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>6年生の人数(人)</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>5年生が並べるいすの数(きやく)</td> <td>126</td> <td>120</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td>6年生が並べるいすの数(きやく)</td> <td>189</td> <td>198</td> <td>207</td> </tr> <tr> <td>いすの合計(きやく)</td> <td>315</td> <td>318</td> <td>321</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">5年生(19)人、6年生(23)人</p>	5年生の人数(人)	21	20	19	6年生の人数(人)	21	22	23	5年生が並べるいすの数(きやく)	126	120	114	6年生が並べるいすの数(きやく)	189	198	207	いすの合計(きやく)	315	318
5年生の人数(人)	21	20	19																		
6年生の人数(人)	21	22	23																		
5年生が並べるいすの数(きやく)	126	120	114																		
6年生が並べるいすの数(きやく)	189	198	207																		
いすの合計(きやく)	315	318	321																		
研究3	課題1	(例) 水の中にしずんでいるレンガブロックの体積と水の体積の合計 $30 \times 60 \times (10 - 1) = 16200$ 水の中にしずんでいるレンガブロックの体積																			

$20 \times 12 \times 9 = 2160$
 水の体積 $16200 - 2160 = 14040$
 水そうの底面積 $30 \times 60 = 1800$
 レンガブロックを入れる前の水の深さ $14040 \div 1800 = 7.8$
 水の深さ (7.8) cm

課題2

(例)



研究4

課題1

黄色の面 S極

きまり

(例) 青色の面が、いつも北を向くように動く。

課題2

(例)

実験1を終えて

発光ダイオード②が光ったので、イとウには電気を通すものがつながっている。

実験2を終えて

イは電気を通すものなのに発光ダイオード①が光らないので、発光ダイオード①につなぐ電池の向きは逆である。

実験3を終えて

電流の向きを実験2と逆にしたのに発光ダイオード①が光らないので、アには電気を通さないものがつながっている。

ア	イ	ウ
木の棒	アルミニウムの棒	アルミニウムの棒
ガラスの棒	10円玉	10円玉
	スプーン	スプーン